

# 令和2年度土浦市の予算

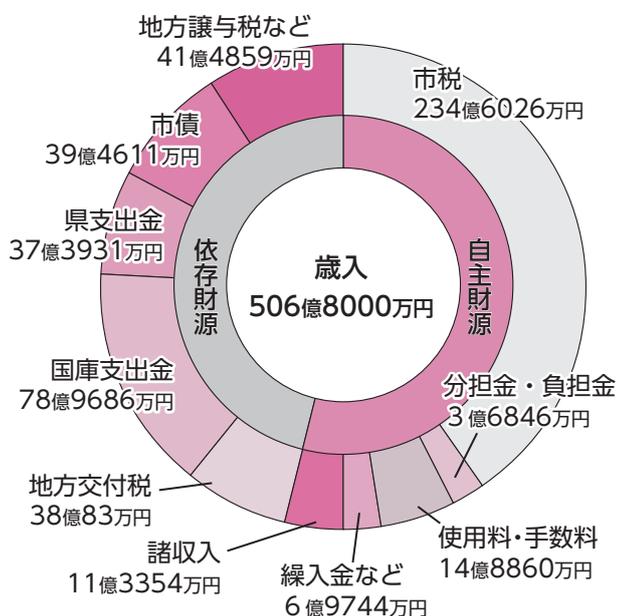
**全会計合計:924億7100万円** (対前年度比 0.7%増)

一般会計:506億8000万円 (対前年度比 4.4%減)    特別会計:417億9100万円 (対前年度比 7.6%増)

令和2年度は、「夢のある、元気のある土浦」の実現を念頭に、子育て支援や少子高齢化社会への対応など保健・福祉の充実、環境への配慮など、住みやすいまちづくりを推進し、市民くらし満足度ナンバーワンのあたたかさあふれる土浦づくりを目指します。主な施策は、4月上旬号に掲載しています。

財政局課 ☎826-1111 内線2213)

## 一般会計 歳入



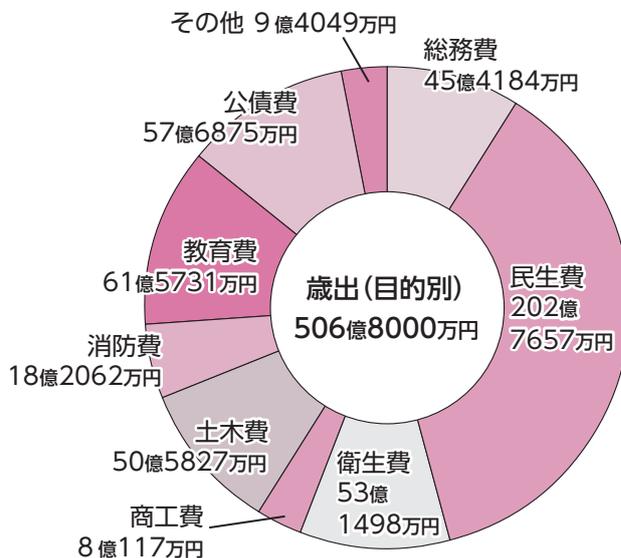
自主財源は、諸収入や繰入金の減により、対前年度比2.4%の減となりました。依存財源は、大型事業の進捗による市債の減などにより、対前年度比6.6%の減となり、平成30年度から引き続き、全体の5割を下回りました。

自主財源	
市税	市民税や固定資産税などの税金
分担金・負担金	保育料など特定の受益者からのお金
使用料・手数料	公共施設の使用料や住民票発行などの手数料
繰入金など	基金からの繰入金や財産収入など
諸収入	延滞金などほかのどの区分にも属さないお金
依存財源	
地方交付税	財政状況に応じて国から交付されるお金
国庫支出金	特定の事業を行うため国から交付されるお金
県支出金	特定の事業を行うため県から交付されるお金
市債	多額の資金を要する際に借りるお金
地方譲与税など	国税のうち一部が市に譲与される地方譲与税、地方交付金など

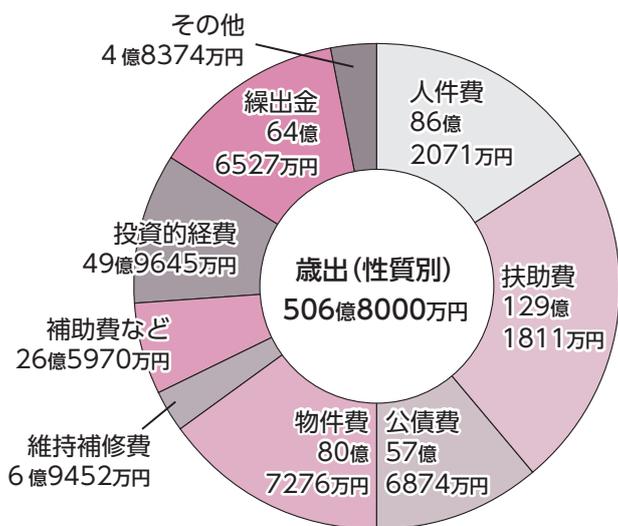
## 一般会計 歳出(目的別)

学校給食センター再整備事業、市民会館耐震化および大規模改造事業の進捗により、教育費は対前年度比32.6%の大幅な減となっています。一方で、污泥再生処理センター整備事業の進捗により、衛生費は対前年度比33.9%の大幅な増となっています。

総務費	全般的な管理事務や徴税、選挙など
民生費	高齢者・障害者の福祉や子育て支援など
衛生費	保健衛生やごみ処理、環境保全など
商工費	商工業の振興や観光などの経費
土木費	道路・公園などの整備や都市計画など
消防費	消防団や消防施設整備など
教育費	学校教育や文化・スポーツなど
公債費	借入金の返済に要する経費
その他	議会費、農林水産業費、災害復旧費など



## 一般会計 歳出(性質別)



人件費、扶助費、公債費で全体の約半分を占めています。これらは義務的経費と呼ばれ、歳入の状況にかかわらず支出しなければならない経費で、この割合が小さいほど財政の弾力性があるとされています。

人件費	職員の給料や手当などの経費
扶助費	児童や高齢者などを援助する経費
公債費	借入金の返済に要する経費
物件費	備品などの購入経費や委託料、光熱水費など
維持補修費	市の施設などの維持管理経費
補助費など	公益的な事業などに対する補助金や負担金
投資的経費	道路や施設の建設経費や災害復旧費など
繰出金	一般会計から特別会計に支出するお金
その他	貸付金や出資金など

## 特別会計 予算額

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の収入と支出により、一般会計と分離して経理を行う会計です。

下水道事業が、令和2年度から公営企業会計へ移行し、減価償却費などを費用計上することとなったことから、対前年度比66.3%の増となり、特別会計全体の規模は対前年度比7.6%の増となりました。また、高齢化の進行により後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の規模はそれぞれ、9.1%、2.2%の増となっています。

会計名	予算額
公共用地先行取得事業	8億7182万円
駐車場事業	1億3891万円
国民健康保険	147億1147万円
後期高齢者医療	19億3118万円
介護保険	116億4641万円
農業集落排水事業	1億2515万円
下水道事業	73億8386万円
水道事業	49億8220万円
計	417億9100万円

## 市民1人あたりの市の予算… 36万6071円

行政の運営  
3万2807円(総務費)



福祉の充実  
14万6462円(民生費)



まちづくりの推進  
3万6537円(土木費)



保健の充実や  
快適な暮らしづくり  
3万8391円(衛生費)



消防活動  
1万3150円(消防費)



教育の充実  
4万4475円(教育費)



市債の返済  
4万1669円(公債費)



商業や農業の振興など  
1万2580円  
(商工・農林水産業費など)

